中澤弘光 Nakazawa Hiromitsu

管球アンプキットと海外パーツの専門店
オーディオ専科


オーディオ専科秋葉原店

真空管アンプマニアならば一度はオーディオ専科のお世話になっているのではないか．同社は技術力に裏打ちされた信頼性の高いキットメーカーとして多くのユーザーから高い評価を受けている．

オーディオ専科社長の森川忠勇氏は，もともとは真空管アンプの製作記事を『無線と実験』に執筆する若手のライターであった．もう30年以上前のことである．若手と書いたが，ちなみに当時の大御所は故浅野勇氏や故伊藤喜多男氏らであった．そして森川氏はこれら両氏の薫陶を受けてきた．

こうして当時は好きなアンプ作りに精を出し『無線と実験』に発表していたのだが，そのうち好きが高じて製作したアンプをキット化して販売する方が主力になってしまった．1971年5月．これがオーディオ専科のスタートである．

その後，1979年には名古屋のアメ横電気街にも支店を開設したが，1989年の秋葉原店開設と同時に閉店している．現在の熊谷ビル2Fに移ったのは1994年である．これによって足立区の工房は開発・生産，秋葉原店は展示・販売と分割され，ユーザーも一段と品定めと購入がしやすくなった．

同社の特徴はキットだけでなく，海外製部品の種類の多さである．これは森川氏が自身で買い付けたもので，抵抗，コンデンサー，ソケット，端子類，線材など多岐にわたり，すべてアメリカ製部品で真空管アンプを組むことも可能である．

コンデンサーでは，スプラグ，マロリー，オーディオ専科特注のニチコンゴールド，CDE，サンガモ，


試聴用スピーカーシステムはアルテック A-7．ここで同社キットの全製品が聴ける


びっしりと並んだ抵抗類の整理棚．マニアにとっては宝石箱だ



整理棚のいくつかをあけると，デール，メプコ，IRC，コーニングなどがぞろぞろ出てきた



ブロック型電解コンデンサー．スプラグ，マロリー，サンガモ，ニチコンなど種類も豊富



チューブラー型コンデンサーも電解コン，オイルコンなど選択に迷うほどある



こちらは真空管ソケットの棚．MT，GT から大型送信管，マグノーバル管，欧州系まで各種

TRW／グッドオール，イノバーガー，GE，WE など10数品種を超える．

固定抵抗は，お馴染みのアーレン・ブラッドレー，コーニング，デール，IRC，TRW のほか国産品も多数揃えている．可変抵抗は，クラロスタット，AB，バーンズ，セントララボなど．

そのほかターミナル類では，H. H. スミス，クルカ，キーストン，シンチ，ウセコ．ソケット類はアンフェノール，シンチ，E. F. ジョンソン．配線材ではベルデンと枚挙にいとまがなく，とてもこのページでは紹介しきれない種類がある．まだ行ったことのない方は，まずは一度，隅から隅まで見てまわることをお勧めする．この部品とこの部品を使ってこんな感じのアンプを作ろうなどと夢が広がること請け合いである．土曜日には森川氏も店にいるのでアンプに関する質問のチャンスだ．また，通販用カタログも必見の内容である．



ただいま試聴中．300B シングル・ステレオアンプ TINY-CHIEF が接続されていた

(株)オーディオ専科　本社　日曜，祝日定休
東京都足立区扇1-29-22
☎03-3890-9138　FAX 03-3896-3690
秋葉原店　12：00～17：00　木曜定休
東京都千代田区外神田1-6-3　熊谷ビル２F
☎03-5256-1690　FAX 03-5256-1694